

3 主に「主体的に学習に取り組む態度」に関する授業内評価の方法と活用

目標設定の工夫

- ◎教師による単元目標の提示 → 生徒が自分の目標や学習の見通しが持てるように共有する
- ◎生徒個人による目標設定 → 自らの学習を調整しようとする側面に着目する

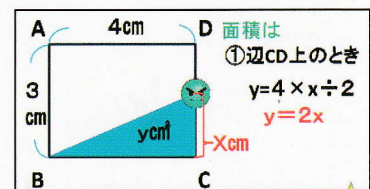
主体性を育むことを目指した授業づくり

◎声掛け

- ・褒める（正解や上手くできたことだけでなく、努力に対しても）
- ・間違いを取り上げ、深める（個で考える時間を増やす、失敗を恐れない雰囲気作り）

◎発問の工夫（一例）

- ・生徒になじみがあるものとなないものを提示
- ・難問に対しての細かいヒントの提示
（ヒントを小出しにすることによる生徒自身の理解の深化）



PowerPoint を用いて文章を視覚化（2年数学の例）

◎机間指導のタイミングや質の向上

- ・全体と個人の両方の学習状況を考慮する
- ・気になる生徒には重点的に複数回声掛けを行う
- ・全体共有への橋渡しとしての巡回を心掛ける
- ・一人ひとりに合わせた声かけ

◎ユニバーサルデザイン等の配慮

- ・板書の工夫（配置、色、大きさなど）
- ・PowerPointの有効活用
- ・教材・教具の精選

次の目標につなげるための振り返り

◎振り返りシート、ノートを活用

- ・単元における個人の目標に対する自己評価
- ・授業内容の要点
- ・自らの学習状況の把握
- ・個人目標の達成度
- ・授業においてできたこと、今後に向けて
- ・小テスト

科目: 6 / 13 (月)	学習内容のタイトル: 選挙の仕組みと関係する農村	授業: 随時随所
大事だと感じたこと、理解したこと 1. 選挙の仕組み、関係する農村	取り組みの自己評価 話し合い活動 良かった 課題の理解度 個人目標の達成度 2点であること	今後のこと、教員に向けて 2点であること
個人目標は達成できているか → A (B) C	振り返りシート A (B) C	今後のこと、教員に向けて 自分の学習の進捗や理解の度を確認し、今後の学習について理解を深めたい。自分の取組と比較する場合は、どのくらい進んでいるかを確認し、今後の学習に活かしたい。

【まとめ】
単元の目標は理解できたか → A・B・C
個人目標は達成できているか → A (B) C

＜評価基準＞
A: 毎回の授業課題や個人目標を意識し、真面目に分析しながら取り組んでいる。
B: すべて埋めている。真面目には書けていない。
C: 休み以外で、書けていないところがある。

2年社会振り返りシートの例

(振り返りの例)

単元の見通しをもった振り返りに

自ら課題を設定し、自ら振り返る学習の習慣化

4月13日(水)
アイヌアサネット
権名誠

この単元で身がけたら、できなかつた部分もあつた。僕の心情を語りとると、はでさたけれど、言葉にしようが、言葉にしようが、言葉にしよう

2年国語のノート例